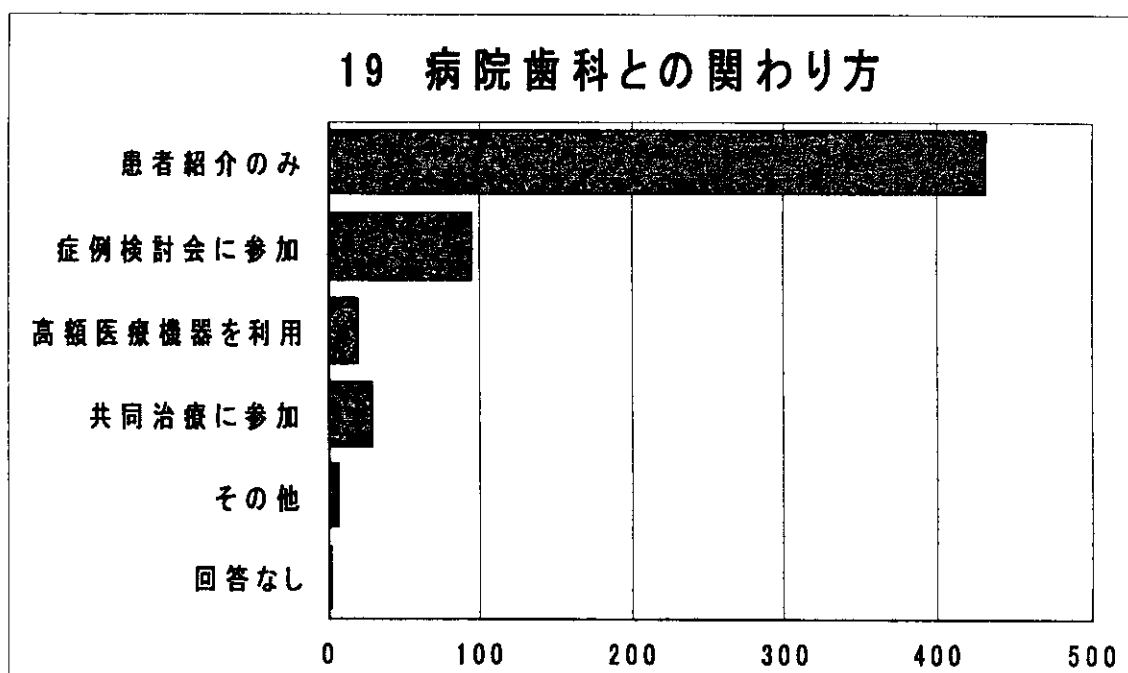


設問 19 あなたと病院歯科とは、どの様に関わっていますか。

(複数回答)



設問 19	患者紹介のみ	症例検討会や研究会に参加したことがある	高額医療や外来検査部門を利用したことがある	共同治療に参加したことがある	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	19	1	0	2	0	0	20
新発田保健医療圏	62	17	5	6	1	0	71
新津保健医療圏	43	15	6	4	1	0	48
新潟保健医療圏	86	36	7	11	4	1	102
巻・三条保健医療圏	82	16	0	2	0	2	87
長岡保健医療圏	28	3	1	1	0	0	28
小出保健医療圏	24	1	1	2	0	0	25
六日町保健医療圏	12	0	0	0	0	0	12
十日町保健医療圏	17	1	0	1	1	0	17
柏崎保健医療圏	12	1	1	1	1	0	12
上越保健医療圏	32	2	0	1	1	0	32
糸魚川保健医療圏	6	1	0	0	0	0	6
佐渡保健医療圏	9	1	0	0	0	1	10
回答なし	2	1	0	0	0	0	3
合計	434	96	21	31	9	4	473
(よこ%)							
	患者紹介のみ	症例検討会や研究会に参加したことがある	高額医療や外来検査部門を利用したことがある	共同治療に参加したことがある	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	95	5	0	10	0	0	100
新発田保健医療圏	87.3	23.9	7	8.5	1.4	0	100
新津保健医療圏	89.6	31.3	12.5	8.3	2.1	0	100
新潟保健医療圏	84.3	35.3	6.9	10.8	3.9	1	100
巻・三条保健医療圏	94.3	18.4	0	2.3	0	2.3	100
長岡保健医療圏	100	10.7	3.6	3.6	0	0	100
小出保健医療圏	96	4	4	8	0	0	100
六日町保健医療圏	100	0	0	0	0	0	100
十日町保健医療圏	100	5.9	0	5.9	5.9	0	100
柏崎保健医療圏	100	8.3	8.3	8.3	8.3	0	100
上越保健医療圏	100	6.3	0	3.1	3.1	0	100
糸魚川保健医療圏	100	16.7	0	0	0	0	100
佐渡保健医療圏	90	10	0	0	0	10	100
回答なし	66.7	33.3	0	0	0	0	100
回答者数	91.8	20.3	4.4	6.6	1.9	0.8	100

【結果】

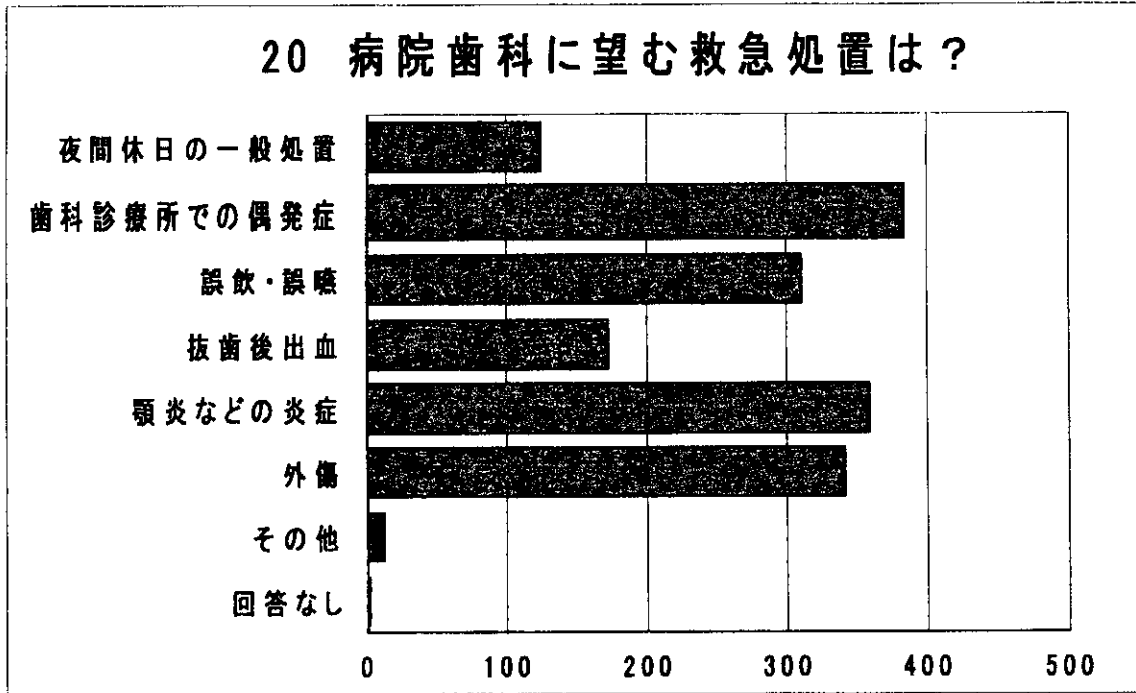
病院歯科との関わり方では、患者紹介のみとする回答が非常に多くみられる。

【考察】

設問 18 と設問 19 を合わせて考察すると、病院歯科へは口腔外科疾患、全身疾患に関する症例を紹介・依頼するのみで、その他の事項については連携が進んでいないように考えられる。

設問 20 病院歯科に望む救急処置は？

(複数回答)



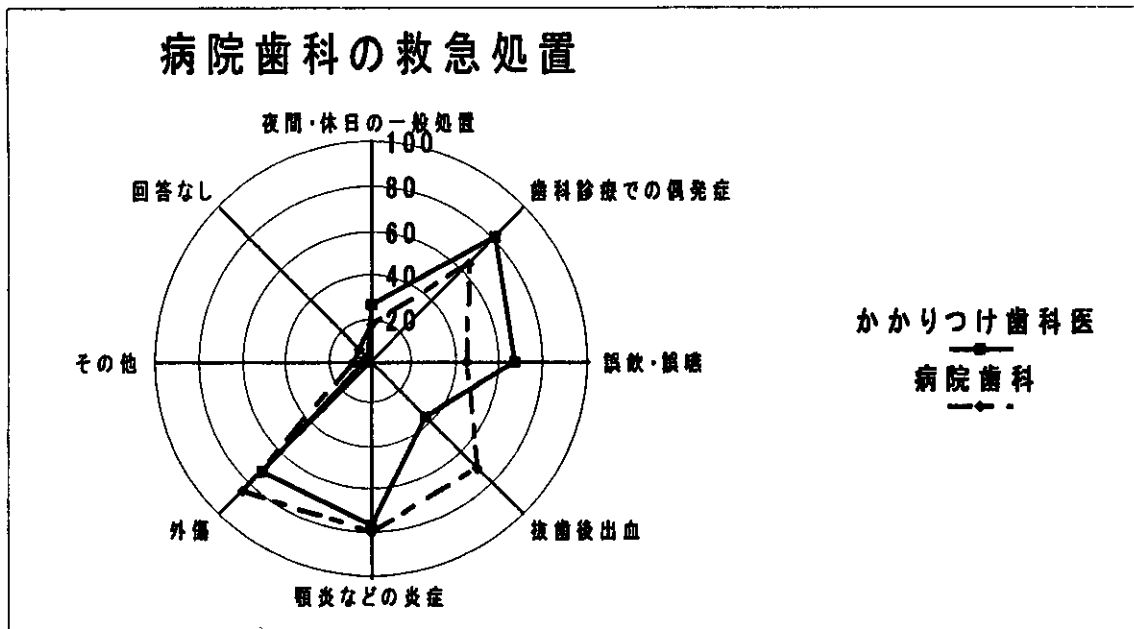
設問20	夜間、休日 の一般 歯科処置 (歯髄炎など)	歯科診療 所での偶 発症	誤飲・誤 嚥	抜歯後出 血	顎炎・蜂 窩織炎な どの炎症	外傷	その他	回答なし	回答者 数
村上保健医療圏	8	17	12	9	12	12	0	0	20
新発田保健医療圏	18	60	46	25	55	53	1	0	71
新津保健医療圏	10	37	33	14	34	37	1	1	48
新潟保健医療圏	38	88	69	40	75	75	3	1	102
巻・三条保健医療圏	27	68	58	32	73	63	7	0	87
長岡保健医療圏	8	21	16	8	21	19	1	0	28
小出保健医療圏	8	18	16	11	21	18	1	0	25
六日町保健医療圏	2	11	10	5	10	7	0	0	12
十日町保健医療圏	2	14	12	10	15	14	0	0	17
柏崎保健医療圏	2	11	8	3	9	12	0	0	12
上越保健医療圏	2	28	23	12	23	28	1	0	32
糸魚川保健医療圏	0	4	3	2	5	2	0	1	6
佐渡保健医療圏	2	6	5	2	7	5	0	1	10
回答なし	0	3	2	2	1	1	0	0	3
合計	127	387	313	175	361	344	15	4	473
(よこ%)									
夜間、休日 の一般 歯科処置 (歯髄炎など)	歯科診療 所での偶 発症	誤飲・誤 嚥	抜歯後出 血	顎炎・蜂 窩織炎な どの炎症	外傷	その他	回答なし	回答者 数	
村上保健医療圏	40	85	60	45	60	60	0	0	100
新発田保健医療圏	25.4	84.5	64.8	35.2	77.5	74.6	1.4	0	100
新津保健医療圏	20.8	77.1	68.8	29.2	70.8	77.1	2.1	2.1	100
新潟保健医療圏	37.3	86.3	67.6	39.2	73.5	73.5	2.9	1	100
巻・三条保健医療圏	31	79.3	66.7	36.8	83.9	72.4	8	0	100
長岡保健医療圏	28.6	75	57.1	28.6	75	67.9	3.6	0	100
小出保健医療圏	32	72	64	44	84	72	4	0	100
六日町保健医療圏	16.7	91.7	83.3	41.7	83.3	58.3	0	0	100
十日町保健医療圏	11.8	82.4	70.6	58.8	88.2	82.4	0	0	100
柏崎保健医療圏	16.7	91.7	66.7	25	75	100	0	0	100
上越保健医療圏	6.3	87.5	71.9	37.5	71.9	81.3	3.1	0	100
糸魚川保健医療圏	0	66.7	50	33.3	83.3	33.3	0	16.7	100
佐渡保健医療圏	20	60	50	20	70	50	0	10	100
回答なし	0	100	66.7	66.7	33.3	33.3	0	0	100
回答者数	26.8	81.8	66.2	37	76.3	72.7	3.2	0.8	100

【結果】

病院歯科に望む救急処置は、偶発症、顎炎などの炎症、外傷、誤飲・誤嚥であり、夜間休日の一般処置は割合が少ない。

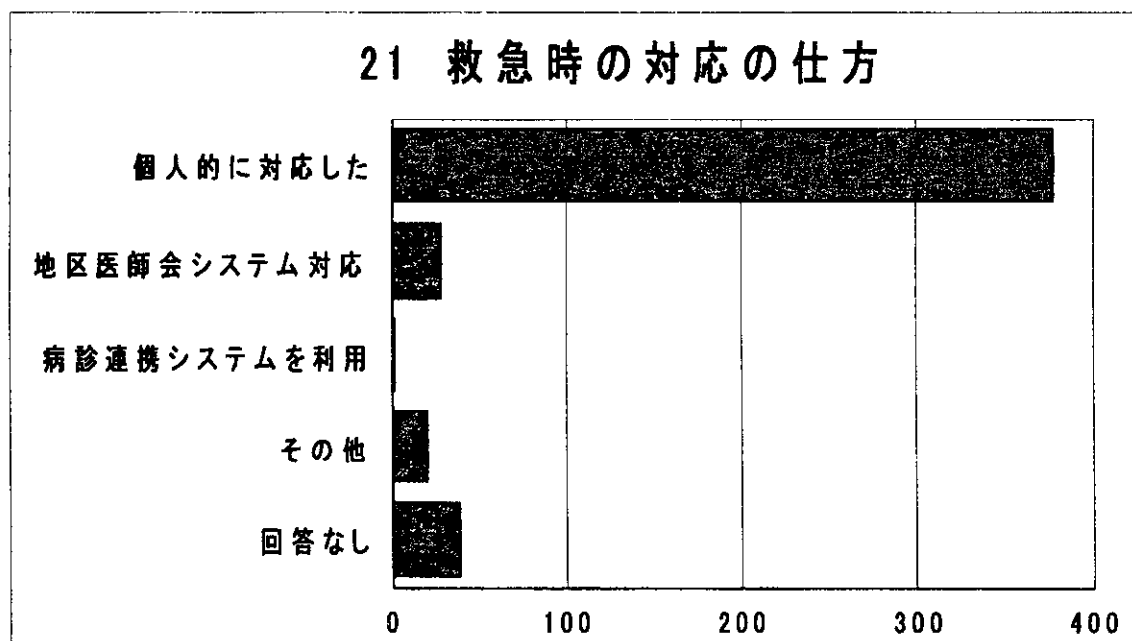
【考察】

救急処置で上位にあげられたものは、かかりつけ歯科医の自院では対処が難しいものであるためと考える。



病院歯科の救急機能については、病院歯科で抜歯後出血が多いのに対し、かかりつけ歯科医では少なくなっているが、おおよそ一致している。

設問 21 救急時にどのように対応されましたか。



設問 21	個人的に対応した	地区歯科医師会のシステムにより対	病院の連携システムを利用した	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	19	0	0	0	1	20
新発田保健医療圏	59	1	0	4	7	71
新津保健医療圏	39	2	0	2	6	48
新潟保健医療圏	59	22	0	9	12	102
巻・三条保健医療圏	79	1	2	3	2	87
長岡保健医療圏	26	0	0	0	2	28
小出保健医療圏	19	0	1	2	3	25
六日町保健医療圏	11	0	0	0	1	12
十日町保健医療圏	15	1	0	0	1	17
柏崎保健医療圏	10	1	1	1	0	12
上越保健医療圏	29	2	0	1	0	32
系魚川保健医療圏	4	0	0	0	2	6
佐渡保健医療圏	7	0	0	0	3	10
回答なし	3	0	0	0	0	3
合計	379	30	4	22	40	473
(よこ%)						
	個人的に対応した	地区歯科医師会のシステムにより対	病院の連携システムを利用した	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	95	0	0	0	5	100
新発田保健医療圏	83.1	1.4	0	5.6	9.9	100
新津保健医療圏	81.3	4.2	0	4.2	12.5	100
新潟保健医療圏	57.8	21.6	0	8.8	11.8	100
巻・三条保健医療圏	90.8	1.1	2.3	3.4	2.3	100
長岡保健医療圏	92.9	0	0	0	7.1	100
小出保健医療圏	76	0	4	8	12	100
六日町保健医療圏	91.7	0	0	0	8.3	100
十日町保健医療圏	88.2	5.9	0	0	5.9	100
柏崎保健医療圏	83.3	8.3	8.3	8.3	0	100
上越保健医療圏	90.6	6.3	0	3.1	0	100
系魚川保健医療圏	66.7	0	0	0	33.3	100
佐渡保健医療圏	70	0	0	0	30	100
回答なし	100	0	0	0	0	100
回答者数	80.1	6.3	0.8	4.7	8.5	100

#### 【結果】

個人的に対応したとの回答が多い。

\* 医療圏別では、新潟保健医療圏において個人的に対応したとの回答は各保健医療圏中で一番少ない。また、地区歯科医師会のシステム対応が最も多い。

#### 【考察】

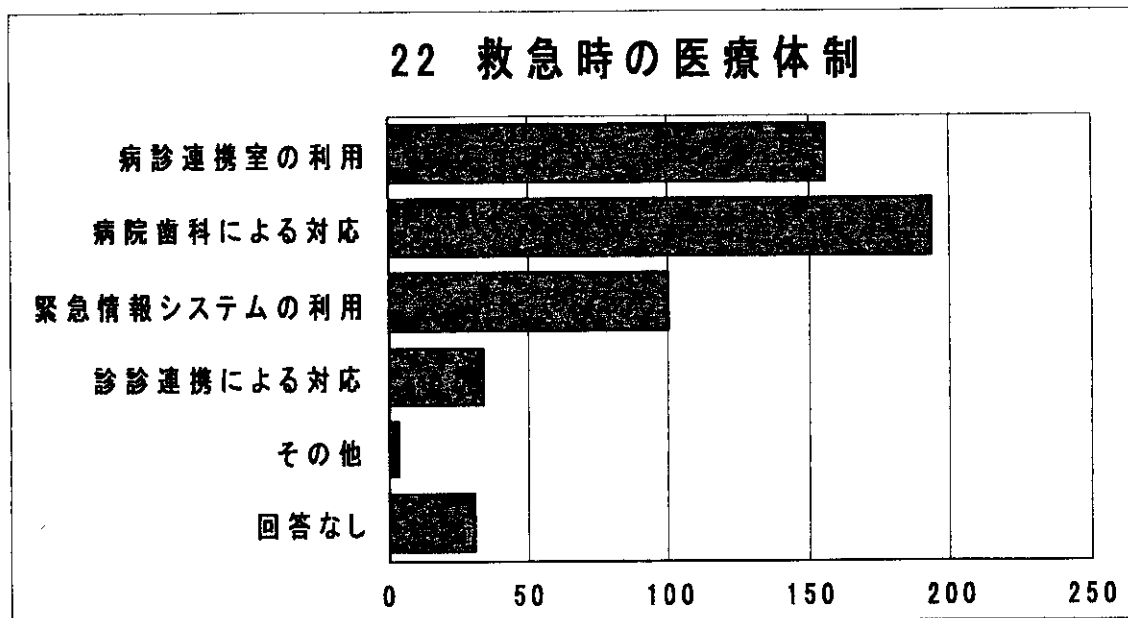
病診連携の紹介システムはあるが整備が不十分であるため、病院歯科に同窓・知り合い

がいる、出身病院（卒業母校）であることなどにより、個人的に対処したものと思われる。

新潟保健医療圏には大学附属病院が2施設あり、他の保健医療圏に比べ紹介システムがある程度整備されやすい条件があるものと考えられる。

設問 22 救急時にどのような医療体制を望みますか。

(複数回答)



設問 22	病診連携 室の利用	病院歯科 による対応	救急情報 システム の利用	診診連携 による対応	その他	回答なし	回答者 数
村上保健医療圏	7	5	9	4	0	1	20
新発田保健医療圏	19	30	18	4	2	4	71
新津保健医療圏	17	16	11	4	0	7	48
新潟保健医療圏	44	34	30	5	1	2	102
巻・三条保健医療圏	27	37	16	8	1	8	87
長岡保健医療圏	6	14	6	2	0	1	28
小出保健医療圏	4	12	5	1	1	3	25
六日町保健医療圏	5	6	1	0	0	0	12
十日町保健医療圏	7	8	1	0	0	1	17
柏崎保健医療圏	6	5	1	2	0	1	12
上越保健医療圏	11	19	2	4	0	0	32
糸魚川保健医療圏	1	2	1	0	0	2	6
佐渡保健医療圏	3	5	0	1	0	1	10
回答なし	0	2	0	0	0	1	3
合計	157	195	101	35	5	32	473
(よこ%)							
	病診連携 室の利用	病院歯科 による対応	救急情報 システム の利用	診診連携 による対応	その他	回答なし	回答者 数
村上保健医療圏	35	25	45	20	0	5	100
新発田保健医療圏	26.8	42.3	25.4	5.6	2.8	5.6	100
新津保健医療圏	35.4	33.3	22.9	8.3	0	14.6	100
新潟保健医療圏	43.1	33.3	29.4	4.9	1	2	100
巻・三条保健医療圏	31	42.5	18.4	9.2	1.1	9.2	100
長岡保健医療圏	21.4	50	21.4	7.1	0	3.6	100
小出保健医療圏	16	48	20	4	4	12	100
六日町保健医療圏	41.7	50	8.3	0	0	0	100
十日町保健医療圏	41.2	47.1	5.9	0	0	5.9	100
柏崎保健医療圏	50	41.7	8.3	16.7	0	8.3	100
上越保健医療圏	34.4	59.4	6.3	12.5	0	0	100
糸魚川保健医療圏	16.7	33.3	16.7	0	0	33.3	100
佐渡保健医療圏	30	50	0	10	0	10	100
回答なし	0	66.7	0	0	0	33.3	100
回答者数	33.2	41.2	21.4	7.4	1.1	6.8	100

【結果】

「病院歯科による対応」, 「病診連携室の利用」, 「緊急情報システム」の順であった。

\* 村上, 新潟, 柏崎の各保健医療圏で「病診連携室の利用」が「病院歯科による対応」を上回った。

【考察】

1. 設問 22 から救急時に個人的に対応しなければならず, そのために緊急時の医療体制を病院歯科に多く望んでいるものと考えらる。

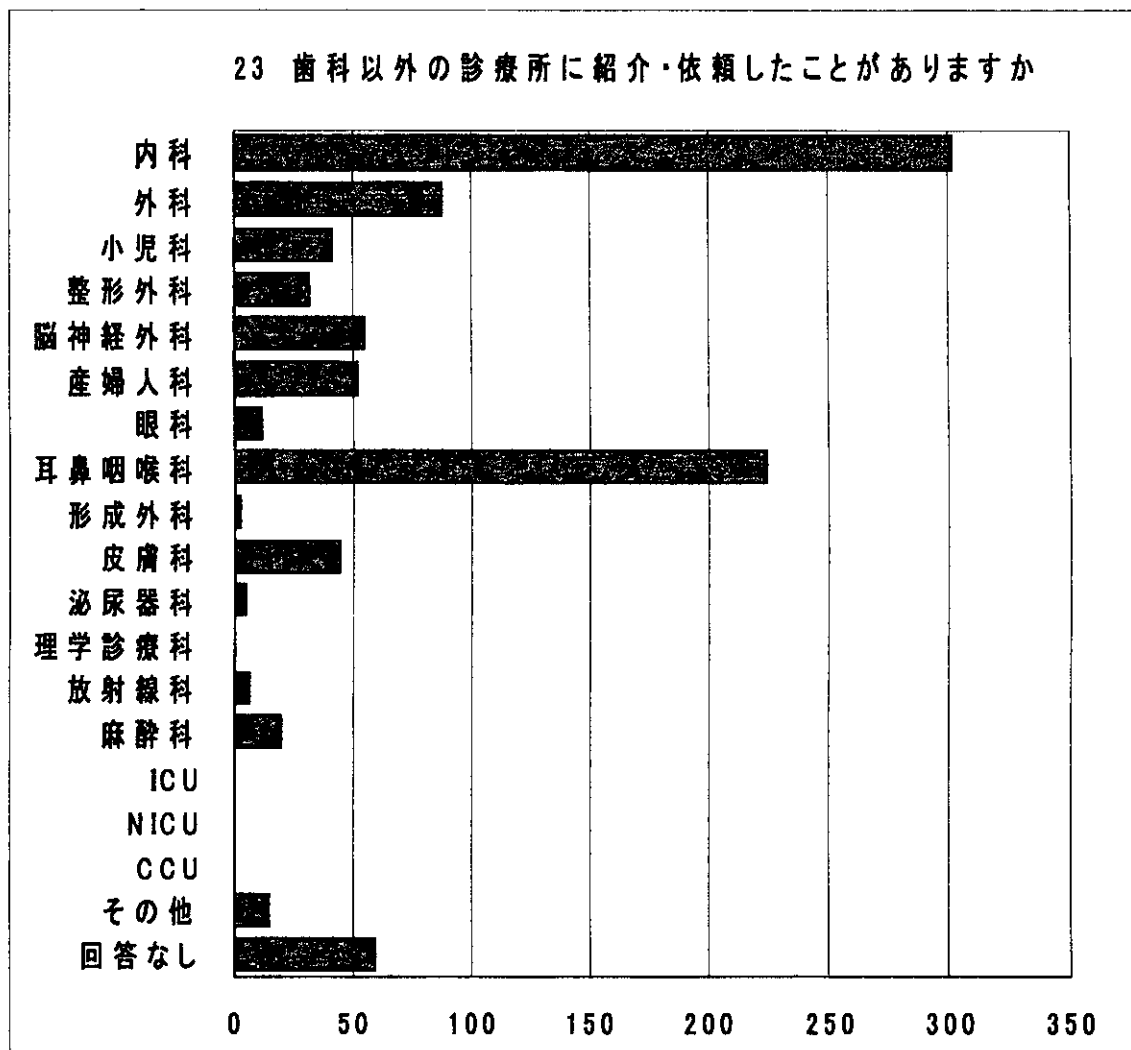
2. したがって「病診連携室の利用」, 「緊急情報システム」の整備が望まれているものと考えられる。

3. 3 保健医療圏で「病診連携室の利用」が高い割合を示し, 今後各病院での病診連携室が開設などによる連携システムが整備されれば様相は変化するかもしれない。



設問 23 今までに病院の歯科以外のどのような診療科に紹介、依頼したことがありますか。

(複数回答)



院別	内科(循環器・消化器・呼吸器)	外科	小児科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	形成外科	皮膚科	泌尿器科	理学療法科	放射線科	麻酔科	ICU	NICU
計上院連合医療圏	11	4	5	1	2	2	2	12	0	3	1	0	0	2	0	0
原野田院連合医療圏	47	0	4	7	7	10	2	34	1	8	1	0	3	4	0	0
原野津院連合医療圏	35	0	4	2	5	5	2	23	0	7	0	0	2	2	0	0
原野院連合医療圏	87	13	3	8	13	7	1	50	1	13	0	0	0	8	0	1
徳・三東院連合医療圏	53	27	7	7	11	9	3	24	0	9	0	0	0	2	0	0
徳島院連合医療圏	77	2	2	2	2	3	0	8	1	1	2	0	0	2	0	0
小出院連合医療圏	13	5	5	4	3	3	2	17	1	2	1	0	2	1	0	0
六日町院連合医療圏	8	3	1	0	1	2	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0
十日町院連合医療圏	14	7	4	0	5	6	1	13	0	1	1	0	0	0	0	0
山崎院連合医療圏	9	4	2	0	0	2	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0
上原院連合医療圏	17	8	3	0	2	2	0	16	0	0	0	0	1	0	0	0
大島院連合医療圏	3	0	1	1	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0
佐賀院連合医療圏	2	2	0	1	4	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0
白鷺女子	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	303	88	43	13	58	53	13	225	4	48	8	0	8	21	0	1
(よこ%)																
計上院連合医療圏	55	20	25	5	10	10	10	40	0	15	5	0	0	10	0	0
原野田院連合医療圏	66.2	0.6	5.6	8.9	9.9	14.1	2.8	47.8	1.4	8.5	1.4	0	4.2	5.8	0	0
原野津院連合医療圏	72.8	12.5	8.3	4.8	10.4	10.4	4.2	47.8	0	14.8	0	0	4.2	4.2	0	0
原野院連合医療圏	85.7	12.7	2.9	7.8	12.7	8.9	1	48	1	12.7	0	0	0	7.8	0	1
徳・三東院連合医療圏	80.8	3.1	8	8	12.6	10.3	3.4	39.1	0	10.3	0	0	0	2.3	0	0
徳島院連合医療圏	80.7	7.1	7.1	7.1	7.1	10.7	0	28.8	3.8	3.8	7.1	0	0	7.1	0	0
小出院連合医療圏	52	20	20	18	12	12	8	88	4	8	4	0	8	4	0	0
六日町院連合医療圏	66.7	26	8.3	0	8.3	16.7	0	50	0	8.3	0	0	0	0	0	0
十日町院連合医療圏	82.4	41.2	23.5	0	28.4	35.3	5.9	76.5	0	5.9	5.9	0	0	0	0	0
山崎院連合医療圏	25	32.3	16.7	0	9	16.7	0	47.7	0	8.3	0	0	0	0	0	0
上原院連合医療圏	83.3	28.1	15.8	0	8.3	8.3	0	40	0	0	0	0	3.1	0	0	0
大島院連合医療圏	33.3	0	16.7	10.7	0	16.7	0	50	0	16.7	0	0	0	0	0	0
佐賀院連合医療圏	29	20	0	3.9	4.0	1.9	0	4.0	0	1.9	0	0	0	0	0	0
白鷺女子	100	33.3	0	0	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答数	84.1	18.8	8.1	7	11.8	11.8	2.7	47.8	9.8	9.7	1.9	0	7.7	4.4	0	0.2

【結果】

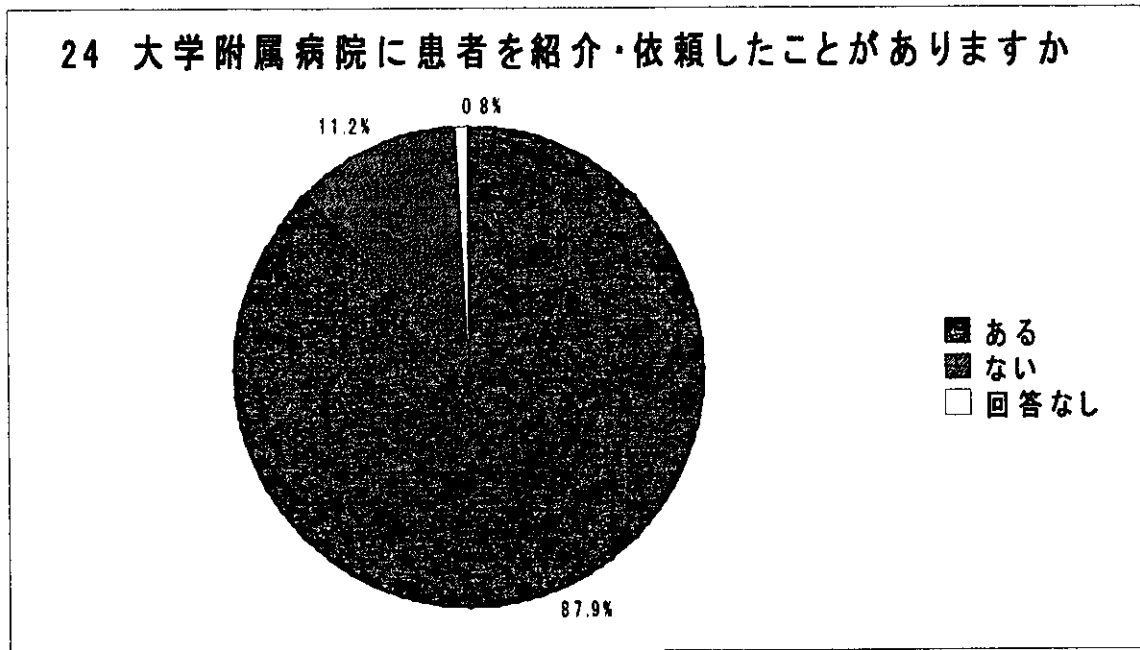
内科，耳鼻咽喉科が高い割合を示し，次に外科が続く。

\* 医療圏別でも同様の傾向を示した。

【考察】

設問 18 で「全身疾患患者」が 3 位であるが，高齢者が増加し，全身疾患を有する患者が増加するに伴い，必然的に内科との連携が多くなったものとする。また，耳鼻咽喉科は隣接領域であるため紹介・依頼による連携が多くなったものとする。今後，在宅診療での脳外科，理学療法科，リハビリテーション科や歯性病巣感染，金属アレルギー等での皮膚科など，高齢化，疾患の多様化により内科以外の各科との連携が多くなるものとする。その意味でも各病院での病診連携室の開設が望まれる。

設問 24 歯科大学・歯学部附属病院に患者を紹介・依頼したことがありますか。



設問 24	ある	ない	回答なし	合計
村上保健医療圏	17	3	0	20
新発田保健医療圏	70	1	0	71
新津保健医療圏	46	1	1	48
新潟保健医療圏	100	1	1	102
巻・三条保健医療圏	78	9	0	87
長岡保健医療圏	20	7	1	28
小出保健医療圏	14	11	0	25
六日町保健医療圏	9	3	0	12
十日町保健医療圏	15	2	0	17
柏崎保健医療圏	12	0	0	12
上越保健医療圏	20	12	0	32
糸魚川保健医療圏	4	2	0	6
佐渡保健医療圏	8	1	1	10
回答なし	3	0	0	3
合計	416	53	4	473
(よこ%)				
	ある	ない	回答なし	合計
村上保健医療圏	85	15	0	100
新発田保健医療圏	98.6	1.4	0	100
新津保健医療圏	95.8	2.1	2.1	100
新潟保健医療圏	98	1	1	100
巻・三条保健医療圏	89.7	10.3	0	100
長岡保健医療圏	71.4	25	3.6	100
小出保健医療圏	56	44	0	100
六日町保健医療圏	75	25	0	100
十日町保健医療圏	88.2	11.8	0	100
柏崎保健医療圏	100	0	0	100
上越保健医療圏	62.5	37.5	0	100
糸魚川保健医療圏	66.7	33.3	0	100
佐渡保健医療圏	80	10	10	100
回答なし	100	0	0	100
合計	88	11.2	0.8	100

【結果】

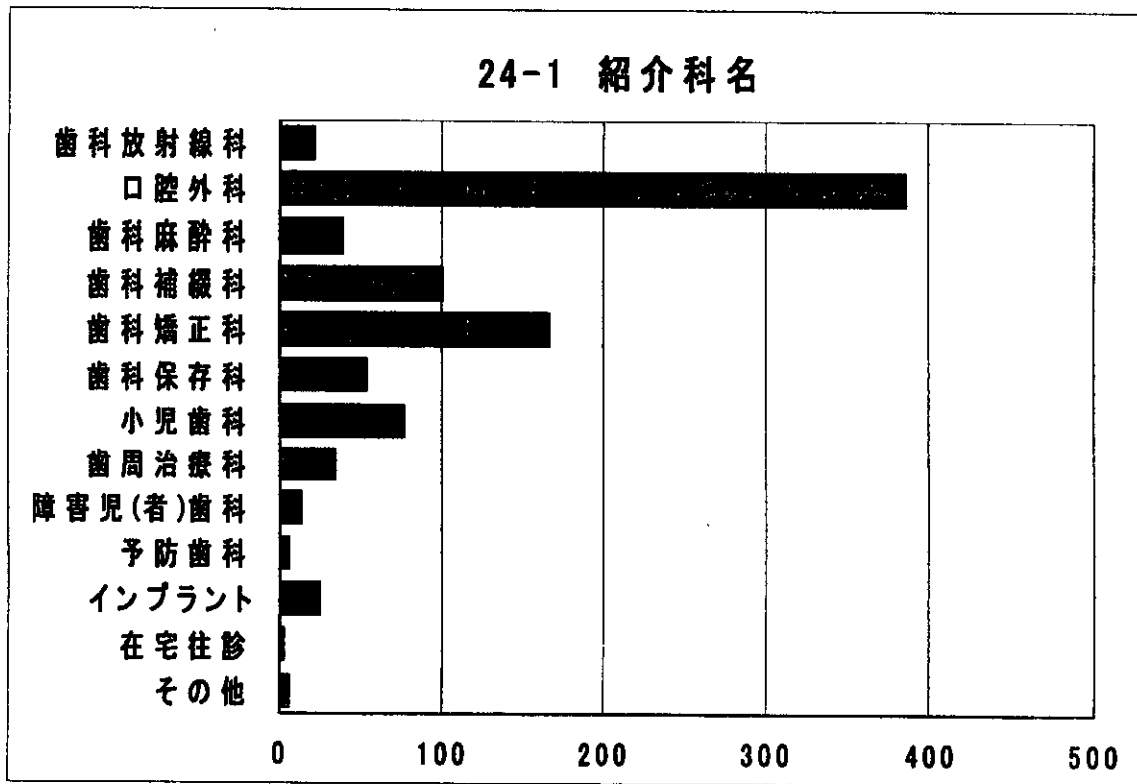
大学附属病院への紹介・依頼の経験が 87.9%みられた。

【考察】

新潟保健医療圏には大学附属病院が 2 施設あり，かかりつけ歯科医が紹介病院を決める主な理由のあげられた「基幹病院・中心的病院である」，「同窓・知り合いがいる」，「優れて専門医，スタッフ」，「アメニティが高い」，「出身病院（卒業母校）である」などの要件を満たしているために，設問 13 からわかるように大学附属病院への紹介・依頼が多くなるものと考えられる。とくに新潟保健医療圏に隣接する新発田,新津，巻・三条の各保健医療圏で高率を示した。これは距離的にも紹介・依頼しやすいためと考えられる。

設問 24-1 (あるとお答えの方に) 紹介したのは何科ですか。

(複数回答)



設問 24-1	歯科放射線科	口腔外科	歯科麻酔科	歯科補綴科	歯科矯正科	歯科保存科	小児歯科	歯周治療科	障害児(者)歯科	予防歯科	インプラント	在宅往診	その他	回答者数
村上市歯科医療圏	2	17	1	1	7	1	0	2	1	0	2	0	0	17
新発田歯科医療圏	6	68	7	17	23	12	11	6	4	0	2	0	2	70
新津歯科医療圏	6	46	6	14	19	9	6	6	1	2	1	0	1	48
新潟県歯科医療圏	5	87	16	32	52	23	30	11	4	4	13	5	2	100
雫・三島歯科医療圏	2	75	6	19	33	9	14	8	2	0	6	0	1	78
長岡歯科医療圏	1	14	3	6	7	1	5	1	1	0	1	0	1	20
小出歯科医療圏	1	14	0	3	5	1	2	0	2	0	0	0	0	14
六日町歯科医療圏	0	7	0	1	4	0	4	0	0	0	1	0	0	9
十日町歯科医療圏	0	11	0	4	4	2	3	1	1	0	1	0	0	15
柏崎歯科医療圏	0	11	1	3	3	1	1	0	0	1	0	0	0	12
上越歯科医療圏	0	16	0	0	8	0	2	2	0	0	0	0	0	20
糸魚川歯科医療圏	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
佐藤歯科医療圏	1	7	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
回答なし	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	24	388	41	102	188	66	78	37	16	7	27	5	7	416
(よこ%)														
村上市歯科医療圏	11.8	100	5.9	5.9	41.2	9.9	0	11.8	5.9	0	17.8	0	0	100
新発田歯科医療圏	4.8	94.3	10	24.3	32.8	17.1	15.7	8.9	5.7	0	2.9	0	2.9	100
新津歯科医療圏	13	100	13	30.4	41.5	10.9	13	13	2.2	4.3	2.2	0	2.2	100
新潟県歯科医療圏	5	87	16	32	52	23	30	11	4	4	13	5	2	100
雫・三島歯科医療圏	2.6	86.2	7.7	23.1	42.3	11.5	17.9	10.3	2.6	0	7.7	0	1.3	100
長岡歯科医療圏	5	70	15	30	35	5	25	5	5	0	5	0	5	100
小出歯科医療圏	7.1	100	0	21.4	35.7	7.1	14.3	0	14.3	0	0	0	0	100
六日町歯科医療圏	0	77.8	0	11.1	44.4	0	44.4	0	0	0	11.1	0	0	100
十日町歯科医療圏	0	73.3	0	28.7	28.7	13.3	20	6.7	6.7	0	6.7	0	0	100
柏崎歯科医療圏	0	81.7	8.3	25	25	8.3	8.3	0	0	8.3	0	0	0	100
上越歯科医療圏	0	60	0	0	40	0	10	10	0	0	0	0	0	100
糸魚川歯科医療圏	0	100	0	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	100
佐藤歯科医療圏	12.5	87.5	12.5	25	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	100
回答なし	0	100	0	0	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	100
回答者数	5.8	93.3	9.8	24.5	40.4	13.2	18.8	8.8	3.8	1.7	6.5	1.2	1.7	100

【結果】

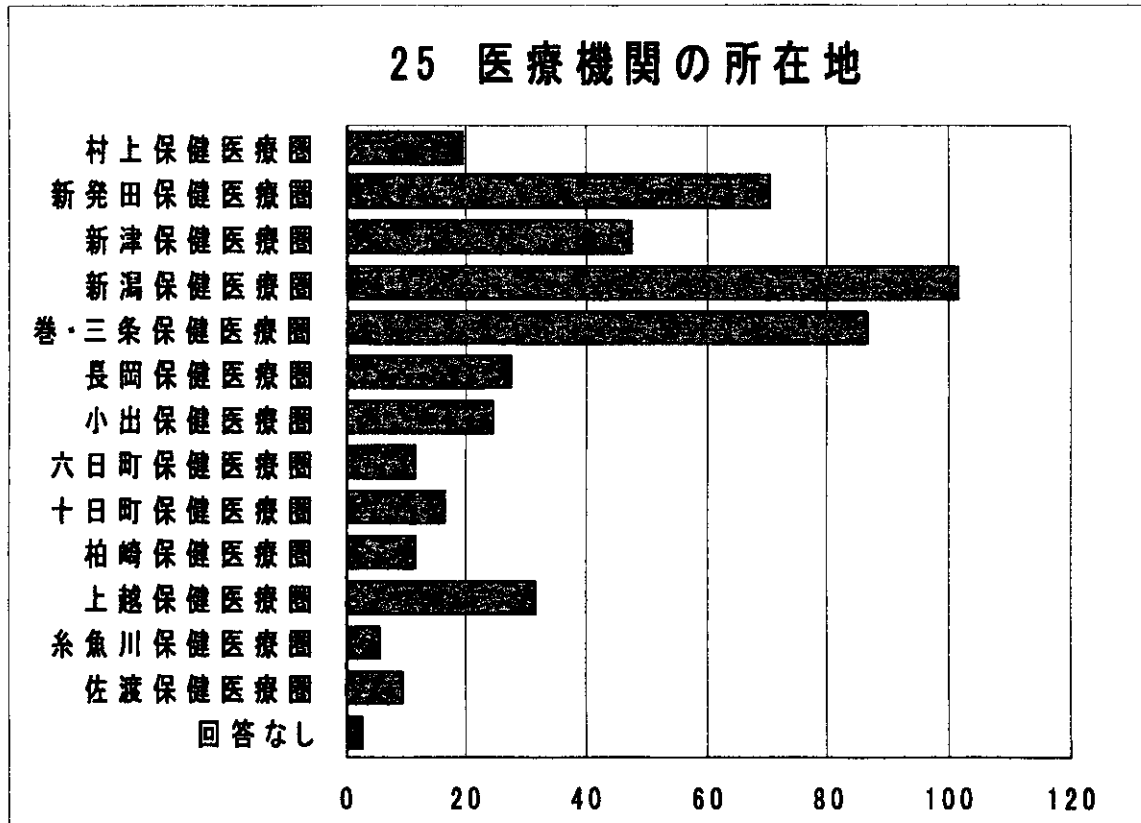
「口腔外科」, 「歯科矯正科」, 「歯科補綴科」の順であった。

\* 医療圏別でも同様の傾向である。

【考察】

設問 18 で口腔外科に関する処置が高率を示すように、かかりつけ歯科医の紹介・依頼先は「口腔外科」が多くなることが伺える。しかし、高齢化、疾患の多様化により口腔外科以外への紹介・依頼が多くなるものと推測される。

設問 25 あなたの医療機関の属する 2 次保健医療圏はどちらですか。



2. 病院歯科に対するアンケート調査結果

A. 病院に関する項目

I. 病院の概要

1) 解説者について

開設者については、医療法人 10 病院，公立（県立・市町村立）9 病院，厚生連 8 病院が多い。

開設者	病院数
厚生省	1
文部省	1(1)
都道府県	6
市町村	3
日赤	1
厚生連	8
公益法人	1
医療法人	10
学校法人	1(1)
その他の法人	1
個人	2
合計	35

( ) は大学附属病院

2) 病床数

一般病床数は 200 床以上の病院が 21 病院，200 床未満は 10 病院であった。

精神病床 200 床以上は 6 病院，200 床未満は 4 病院であった。伝染病床を有するのは 5 病院，結核病床を有するのは 2 病院で，いずれも 200 床未満であった。

一般病床数	病院数	比率
200床以上	21	60%
200床未満	10(2)	29%
未回答	4	11%
合計	35	100%

( ) は大学附属病院

病床数	病院数	比率
200床以上	19	54%
200床未満	7(2)	20%
未回答	9	26%
合計	35	100%

( ) は大学附属病院



### 3) 診療科

診療科は、内科，外科，整形外科が 70%以上の施設であり，歯科隣接科の耳鼻咽喉科は 19 病院(54%)に開設されている。

歯科では，歯科が 27 病院(77%)，歯科口腔外科 16 病院 (46%)，小児歯科，矯正歯科は 4 病院(11%)であった。

診療科名	病院数	比率
内科	30	86%
*歯科	27	77%
外科	25	71%
整形外科	25	71%
小児科	22	63%
眼科	19	54%
耳鼻咽喉科	19	54%
皮膚科	19	54%
泌尿器科	19	54%
神経内科	18	51%
産婦人科	17	49%
精神科	16	46%
脳神経外科	16	46%
リハビリテーション科	16	46%
*歯科口腔外科	16	46%
放射線科	14	40%
麻酔科	8	23%
神経科	7	20%
循環器科	6	17%
呼吸器外科	6	17%
心臓血管外科	6	17%
呼吸器科	5	14%
消化器科	5	14%
形成外科	4	11%
*矯正歯科	4	11%
*小児歯科	4	11%
小児外科	3	9%
産科	3	9%
婦人科	3	9%
心療内科	2	6%
アレルギー科	1	3%
リウマチ科	1	3%
肛門科	1	3%

## II. 診療実績

### 1) 紹介率

紹介率は、平均 12.7% (回答 28 病院) であった。  
200 床以上の病院の紹介率は平均 15.5% であった。

紹介率(救急患者を含む)	病院数	比率
20%未満	19	54%
20~30%	6	17%
30~50%	3	9%
50%以上	0	0%
未回答	7	20%
合計	35	100%

### 2) 平均在院日数

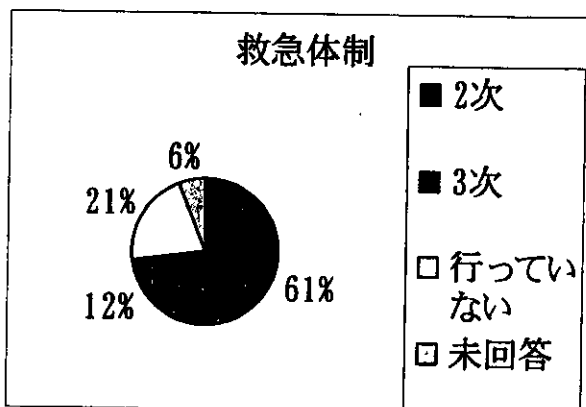
平均在院日数が 30 日以下の病院は 62.9%, 100 日以上  
の病院が 22.9% であった。100 日以上の 8 病院のうち 1 病院が  
が精神病床を有する病院であった。大学附属病院は平均 27.2  
日であった。

平均在院日数	病院数
10~20日	12
20~30日	10
30~40日	2
40~50日	0
50~100日	1
100日以上	8
未回答	2
合計	35

## III. 救急医療体制

(大学附属病院を除く)

### 1) 救急体制について



救急体制(大学病院を除く)	病院数
2次	20
3次	4
行っていない	7
未回答	2
合計	33

2) 過去1年間の救急外来を受診した患者数  
平均 7096 名 (19 病院), 最大 18413 名であった。

救急患者数	病院数	比率
0~1000	2	8%
1000~5000	3	13%
5000~10000	8	33%
10000~20000	5	21%
20000~30000	1	4%
30000~40000	0	0%
未回答	5	21%
合計	24	100%

3) 過去1年間に救急車で搬送された患者数  
平均 834.9 名 (19 病院), 最大 2340 名であった。

救急車での救急患者	病院数	比率
~100	2	8%
100~1000	10	42%
1000~2000	5	21%
2000~3000	2	8%
3000~4000	0	0%
4000~5000	0	0%
未回答	5	21%
合計	24	100%

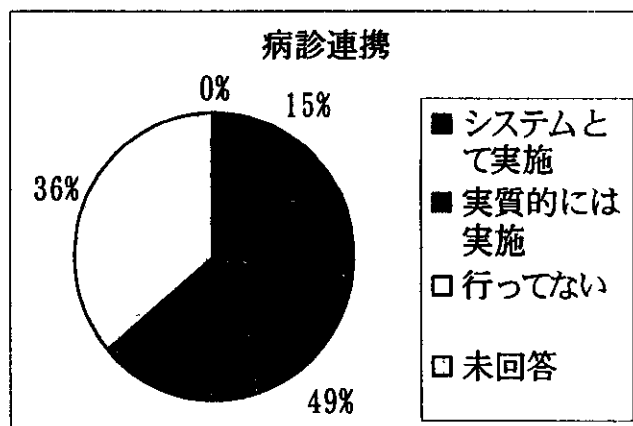
4) 過去1年間に救急で入院した患者数  
平均 1062.1 名 (18 病院), 最大 2933 名であった。

救急入院患者数	病院数	比率
~100	3	13%
100~1000	6	25%
1000~2000	7	29%
2000~3000	2	8%
3000~4000	0	0%
4000~5000	0	0%
5000~	0	0%
未回答	6	25%
合計	24	100%

## V. 病診連携について(大学附属病院を除く)

### 1) 病診連携の実施

病診連携を実施しているのは、64%と半数以上であった。「システムとして実施している」と答えたのは33病院中5病院(15%)で、運営協議会が行われており、病診連携室は4病院で設置されている。登録医制は2病院で行われている。



### 2) 院外医師の診察について

院外医師の病院での診察は6病院(18%)で可能であった。

院外医師の診察	病院数	比率
可	5	15%
紹介患者のみ可	1	3%
不可	27	82%
未回答	0	0%
合計	33	100%

### 3) 研修会の実施

院外医師に対して研修会が行われている病院は約半数の48%病院であった。

研修会	病院数	比率
実施	16	48%
行っていない	16	48%
未回答	1	3%
合計	33	100%

### 4) 高額医療機器の共同利用

利用できるのは9病院(27%)であった。

共同利用	病院数	比率
直接可	3	9%
診療科を通して可	6	18%
不可	24	73%
未回答	0	0%
合計	33	100%

### 5) 院外医師のベッドの利用

1病院のみで院外医師の病院の病床を利用できる。

ベッド利用	病院数	比率
可	1	3%
不可	31	94%
未回答	1	3%
合計	33	100%